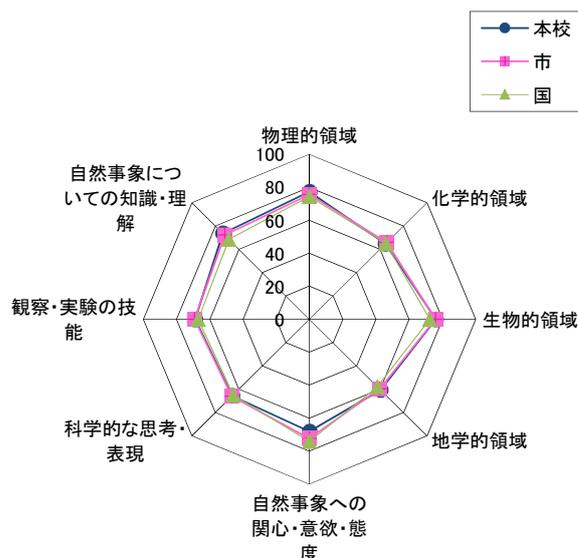


宇都宮市立陽西中学校第3学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物理的領域	77.4	75.7	74.4
	化学的領域	64.8	65.8	65.0
	生物的領域	76.1	75.9	72.5
	地学的領域	60.7	59.8	57.8
観点	自然事象への関心・意欲・態度	68.0	72.3	74.0
	科学的な思考・表現	65.7	66.0	64.9
	観察・実験の技能	68.8	69.1	67.0
	自然事象についての知識・理解	73.7	72.1	68.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物理的領域	<p>平均正解率は、全国平均より高い。</p> <p>○光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができている。</p> <p>●光の道筋を問う問題では課題が見られる。</p>	<p>・今後も日常生活の現象を言葉で話したり、図で表し説明したりできる力を育てるようにする。</p> <p>・1年生の光・音の分野については、目に見えにくい光の進み方や音の伝わりを工夫して可視化することで考えていく。また、2年生の電気分野では、電気量や電圧と電流の大きさなどを計算できるように、実験結果をもとに求め方を考え出し、計算問題演習を行う。</p>
化学的領域	<p>平均正解率は、全国平均とほぼ同じ。</p> <p>○ガスバーナーの火のつけ方など観察・実験の技能が身につけていて、授業で丁寧に実験を行ってきた成果であると考えられる。</p> <p>●実験を計画する思考力に課題が見られる。</p>	<p>・今後も日常生活より課題を見つけ解決する方法を考え、実験・観察を行い、問題解決する力を育てるようにする。また、実験器具の使い方を丁寧に説明して、器具を正確に使いこなすことができるようにする。</p> <p>・3年生のイオン分野の指導では、2年生での学習の復習を取り入れながら、つながりを大切に指導を工夫する。</p>
生物的領域	<p>平均正解率は、全国平均より高い。</p> <p>○無脊椎動物の体のつくりの特徴を化学的に考えることができている。昨年度の解剖観察の授業の成果であると考えられる。</p> <p>●ヒトの神経系の知識に課題が見られる。</p>	<p>・今後も植物・動物の生命の繋がり的美しさやすばらしさを伝え、感動する心を育てるようにする。</p> <p>・1・2年生の動物・植物分野の指導では、多様多様な特徴に応じた分類や進化の過程について指導を工夫する。また、人や植物が生きるために必要なエネルギーをつくる仕組みについての知識・理解を積み上げ、学習の指導を工夫する。</p>
地学的領域	<p>平均正解率は、全国平均より高い。</p> <p>○風向きの観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することができる。</p> <p>●シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘する問題に対して課題が見られる。</p>	<p>・今後も身近な自然における興味・関心や、自然災害への問題意識を高め、自然の有効活用について考えさせていく。</p> <p>・3年生の天体の分野の指導では、身近な太陽や星座について学習の指導を工夫する。また、知識を積み上げていくことができるように、観察や写真を活用したり、日常生活と関連させたり、繰り返し学習したりするなど工夫する。</p>